

県立高等学校入学者選抜方法の主な改善経緯

<入試制度の変遷について>

	推薦入試	学力検査等
S42年度選抜～		
S53年度選抜～	農業・水産・体育	9教科 → 5教科
S61年度選抜～	全専門学科 一部普通科 (4校)	第1日 3教科 第2日 2教科
H9年度選抜～	全校実施 普通科30% 体育科50% その他40%	
H13年度選抜～	枠拡大 普通科40% その他50%	第1日 5教科 第2日 面接, 作文など
	特色ある入学者選抜	学力検査等
H15年度選抜～	全学科 10～50% <u>選抜</u> 【調査書】 + 【面接, 自己表現・・・】	第1日 5教科 第2日 面接, 作文など
	前期選抜	後期選抜
H23年度選抜～	第1日 【学力検査】 50分×5教科 第2日 【面接, 自己表現, 作文, ……】 (学校ごと) <u>選抜</u> 【学力検査】 + 【調査書】 + 【面接・・・】 <比率は学校ごと> 普通科 30～60% その他 50～80% (H28年度選抜からは100%)	1日で実施 【学力検査】 + 【面接等】 40分×5教科 必要に応じて (学校ごと) <u>選抜</u> 【学力検査】 + 【調査書】 × 【K】 (500点) (135点) (1,2,3・・・)

< 現行の入試制度について >

前期選抜 (2日間)	<特色ある入学者選抜(特色化選抜)の理念を継承> ・学力検査(50分×5教科) ・学校ごとの検査(面接,自己表現などから選択)
後期選抜	・学力検査(40分×5教科) ・必要に応じて各校で実施する検査(面接など)

< 各特別入学者選抜について >

- ア 海外帰国生徒の特別入学者選抜(昭和61年度選抜から実施)
- イ 外国人の特別入学者選抜(平成4年度選抜から実施)
- ウ 中国等帰国生徒の特別入学者選抜(昭和63年度選抜から実施)
- エ 成人の特別入学者選抜(平成10年度選抜から実施)
- オ 連携型高等学校の特別入学者選抜(平成16年度選抜から実施)
- カ 地域連携アクティブスクールの一期入学者選抜及び二期入学者選抜(平成24年度選抜から実施)
- キ 三部制の定時制の課程における秋季入学者選抜(平成18年度選抜から実施)
- ク 通信制の課程の入学者選抜の一期～五期入学者選抜(平成18年度選抜から実施)

< 平成30年度入学者選抜方法の改善経緯 >

(1) 改善の経緯

幕張総合高校の平成29年度前期選抜において、選抜・評価方法について、受検生及び保護者に十分な説明がなされず、また、関係職員の共通理解の下に、評価方法・評価基準等を組織として明確に設定することができていなかったことが明らかとなり、公正・公平・透明性の一層の確保が求められることから、平成30年度選抜から改善を図ることとした。

(2) 改善の具体的方策

各高等学校の「選抜・評価方法」に記載する「期待する生徒像」「選抜資料」「評価項目及び評価基準」及び「選抜方法」について具体的に示し、志願者等に分かりやすいものになるよう改善を図るとともに、平成30年度選抜から各校で用いる判定資料は、原則すべて得点化・数値化し、それを合計した「総得点」に基づいて選抜を実施することとした。

<具体例> 選抜方法について

ア 前期選抜における選抜方法については、原則として、各選抜資料の得点を合計した「総得点」に基づき選抜を行うものとする。

なお、各選抜資料の取扱いなどを具体的に示すとともに、選抜の手順等について志願者等に分かりやすく記載し、「総得点」の満点の内訳を表に示すこと(「第2日の検査」を2つ以上実施する場合は、それぞれの検査ごとに記載する。)

(記載例)

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点		総得点
	評定(算式1)	加点	面接	自己表現	
500点	(135 + α - m)点	65点	40点	60点	(800 + α - m)点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 当該志願者の在籍する中学校の第3学年(義務教育学校にあっては、後期課程の第3学年)の評定の全学年の合計値の平均値